

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月6日

上場会社名 ワイエシイ株式会社

上場取引所 東

コード番号 6298 URL http://www.vac.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 百瀬 武文

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 平井 雄一

TEL 042-546-1161

四半期報告書提出予定日 平成20年8月14日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	3,876	—	281	—	205	—	118	—
20年3月期第1四半期	4,586	△7.0	1,065	35.0	1,077	41.2	695	66.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	12.75	—
20年3月期第1四半期	72.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
21年3月期第1四半期	19,639	—	10,772	—	54.9	—	1,158.66	
20年3月期	21,401	—	10,729	—	50.1	—	1,154.00	

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 10,772百万円 20年3月期 10,729百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	8,000	△37.5	600	△62.4	500	△68.5	300	△71.1	32.27
通期	19,500	△8.0	1,900	△17.2	1,850	△22.0	1,150	△24.5	123.69

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 一社(社名)

除外 一社(社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 9,674,587株 20年3月期 9,674,587株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 376,851株 20年3月期 376,851株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 9,297,736株 20年3月期第1四半期 9,652,076株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績の予想等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、今後様々な要因により変動する可能性があります。

なお、連結業績予想に関する定性的情報は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照下さい。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準摘要指針第14号)を適用しています。

また、「四半期連結財務諸表規則」に従い、四半期連結財務諸表を作成しています。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国の経済は、米国に端を発するサブプライムローン問題による金融市場の混乱や原油をはじめとする原材料の高騰等による企業収支の悪化から、景気が停滞に転ずる状態となりました。

「産業エレクトロニクス関連事業」

この様な経済環境の中、当社グループの産業エレクトロニクス関連事業におきましては、半導体関連装置分野で海外向け売上が増加し、液晶パネル関連装置分野では、大型液晶パネル及びモバイル用中小型液晶パネル製造装置の売上が好調でありました。

その反面、ハードディスク関連装置分野の企業の設備投資が先送りとなったこともあり、当第1四半期の売上は前年度より低水準な業績となりました。以上の結果、同関連事業売上高3,450百万円（前年同期比17.9%減）となりました。

「クリーニング関連その他事業」

クリーニング関連その他事業におきましては、景気停滞の影響があるものの、海外向け仕上機の売上が順調だった事により売上高425百万円（前年同期比11.5%増）となりました。

上記の結果、当社グループの当第1四半期は、売上3,876百万円（前年同期比15.5%減）になりました。また、昨今の原材料の高騰などの要因を受け、営業利益281百万円（前年同期比73.6%減）、経常利益205百万円（前年同期比80.9%減）、当期純利益118百万円（前年同期比83.0%減）となり、前年第1四半期と比べ減収減益となりました。

次期四半期に向け当社グループは変動の激しい経営環境に柔軟に対応すべく、高収益企業への挑戦、事業規模の拡大に重点をおいた経営施策を取り組んでおります。

そのため、当連結会計年度より資材本部を設置し、コスト削減を図っていく所存でございます。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、受取手形及び売掛金などの流動資産が減少したことから資産の残高は前期末に比べ17億61百万円減少し196億39百万円となりました。

負債の残高は、借入金の返済により、前期末に比べ18億5百万円減少し88億66百万円となりました。

純資産は前期末に比べ43百万円増加しました。この結果、自己資本率は54.9%（前期末 50.1%）となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは19億37百万円の獲得（前年同期は2億7百万円の獲得）となりました。

主な増加要因は税金等調整前四半期純利益2億5百万円、売上債権の減少14億79百万円であります。一方、主な減少要因は法人税等の支払額1億74百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは6百万円の使用（前年同期は1億54百万円の使用）となりました。これは主に有形・無形固定資産の取得による支出5百万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは22億円の使用（前年同期は4億62百万円の獲得）となりました。これは主に借入金の返済28億26百万円、配当金の支払額1億85百万円によるものであります。

以上により、現金及び現金同等物の期末残高は、前期末に比べ2億26百万円減少の43億94百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績につきましては、最近の業績の動向を踏まえ、平成20年5月12日公表の中間期及び通期の業績予想したものを変更しております。

なお、予想に関する事項は、本日（平成20年8月6日）発表の「平成21年3月期の業績予想の修正について」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実施棚卸を省略し、前連結会計年度末の実施棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックスプランニングを利用する方法によっております。

③ 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して、算定する方法によっております。

④ 税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号）を当第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。
これに伴う、売上総利益、営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

③ 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（企業会計基準委員会 平成18年5月17日 実務対応報告第18号）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。
これに伴う、売上総利益、営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,399,828	4,625,464
受取手形及び売掛金	7,914,129	9,217,545
商品	311,468	103,436
製品	482,688	391,615
原材料	719,296	609,733
仕掛品	2,267,694	3,044,796
繰延税金資産	179,107	182,984
その他	195,109	70,167
貸倒引当金	△8,923	△9,865
流動資産合計	16,460,400	18,235,878
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,650,449	1,646,313
減価償却累計額	△1,114,449	△1,099,854
機械装置及び運搬具	127,009	122,116
減価償却累計額	△107,073	△105,945
工具、器具及び備品	1,048,487	994,733
減価償却累計額	△798,520	△772,022
土地	2,042,412	2,042,412
有形固定資産合計	2,848,315	2,827,752
無形固定資産		
のれん	84,585	87,148
その他	13,780	12,359
無形固定資産合計	98,365	99,508
投資その他の資産		
投資有価証券	180,985	187,203
長期滞留債権等	34,845	34,824
その他	71,620	71,252
貸倒引当金	△54,749	△54,749
投資その他の資産合計	232,702	238,530
固定資産合計	3,179,383	3,165,791
資産合計	19,639,783	21,401,670

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,134,193	4,133,493
短期借入金	639,140	3,346,740
1年内償還予定の社債	300,000	300,000
未払法人税等	180,451	264,310
未払費用	199,971	227,374
賞与引当金	165,750	109,200
その他	373,193	118,480
流動負債合計	5,992,700	8,499,598
固定負債		
社債	700,000	700,000
長期借入金	1,614,680	921,590
繰延税金負債	128,840	124,839
退職給付引当金	430,614	426,042
固定負債合計	2,874,135	2,172,471
負債合計	8,866,835	10,672,070
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,756,680	2,756,680
資本剰余金	3,582,276	3,582,276
利益剰余金	4,699,178	4,766,607
自己株式	△376,077	△376,077
株主資本合計	10,662,058	10,729,487
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	13,592	17,414
為替換算調整勘定	97,296	△17,301
評価・換算差額等合計	110,889	112
純資産合計	10,772,948	10,729,599
負債純資産合計	19,639,783	21,401,670

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
売上高	3,876,055
売上原価	3,019,130
売上総利益	856,925
販売費及び一般管理費	
役員報酬及び給料手当	172,109
賞与引当金繰入額	17,550
福利厚生費	10,717
賃借料	20,903
業務委託費	43,862
研究開発費	74,175
減価償却費	22,539
その他	213,501
営業利益	281,565
営業外収益	
受取利息	3,872
受取配当金	462
受取賃貸料	2,804
その他	1,477
営業外収益合計	8,616
営業外費用	
支払利息	15,510
為替差損	64,421
ファクタリング料	471
持分法による投資損失	2,571
その他	1,228
営業外費用合計	84,203
経常利益	205,978
税金等調整前四半期純利益	205,978
法人税、住民税及び事業税	87,451
四半期純利益	118,526

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	205,978
減価償却費	42,973
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	4,571
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△942
受取利息及び受取配当金	△4,334
支払利息	15,610
為替差損益 (△は益)	5,272
持分法による投資損益 (△は益)	2,571
売上債権の増減額 (△は増加)	1,479,074
たな卸資産の増減額 (△は増加)	390,237
仕入債務の増減額 (△は減少)	△11,783
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△33,070
その他	22,237
小計	2,118,395
利息及び配当金の受取額	4,800
利息の支払額	△11,133
法人税等の支払額	△174,376
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,937,686
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△600
有形固定資産の取得による支出	△3,857
ソフトウェアの取得による支出	△1,648
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,105
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,707,600
長期借入れによる収入	811,900
長期借入金の返済による支出	△118,810
配当金の支払額	△185,954
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,200,464
現金及び現金同等物に係る換算差額	42,647
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△226,235
現金及び現金同等物の期首残高	4,621,064
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,394,828

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	産業用エレクトロニクス関連事業 (千円)	クリーニング関連その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	3,450,780	425,275	3,876,055	—	3,876,055
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,450,780	425,275	3,876,055	—	3,876,055
営業利益	402,642	48,243	450,886	(169,320)	281,565

(注) 1. 事業区分の方法

事業は製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各事業区分に属する主要な製品

事業区分	主要製品
産業用エレクトロニクス関連事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ハードディスク関連製品 ハードディスク製造用バニッシング装置 クリーンコンベアシステム ・液晶関連製品 液晶用プラズマドライエッチング、アッシング装置 ・半導体関連製品 各種ICテストハンドラー及び関連機器
クリーニング関連その他事業	<ul style="list-style-type: none"> クリーニング業界向け各種仕上機 クリーニング業界向け各種包装機 その他クリーニング関連自動化機器

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	日本 (千円)	北米 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	3,274,973	84,549	516,533	3,876,055	—	3,876,055
(2) セグメント間の内部売上高	577,070	16,097	277	593,444	(593,444)	—
計	3,852,043	100,646	516,810	4,469,500	(593,444)	3,876,055
営業利益	379,320	12,778	45,948	438,047	(156,481)	281,565

(注) 1. 地域は地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

- (1) 北米……アメリカ
- (2) アジア……シンガポール

c. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

項 目	アジア	北 米	欧 州	計
I 海外売上高（千円）	1,224,251	243,972	8,362	1,476,587
II 連結売上高（千円）	—	—	—	3,876,055
III 海外売上高の連結売上高に占める割合（%）	31.6	6.3	0.2	38.1

（注）1. 地域は地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

(1) アジア……台湾、シンガポール、マレーシア、韓国、中国、タイ、フィリピン、ベトナム

(2) 北米……アメリカ

(3) 欧州……ドイツ、アイルランド、オランダ

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額(千円)
I 売上高	4,586,837
II 売上原価	3,003,305
売上総利益	1,583,532
III 販売費及び一般管理費	517,611
営業利益	1,065,921
IV 営業外収益	20,155
V 営業外費用	8,801
経常利益	1,077,275
VI 特別利益	231
VII 特別損失	61
税金等調整前四半期純利益	1,077,445
法人税、住民税及び事業税	381,965
四半期純利益	695,479

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,077,445
減価償却費	35,795
退職給付引当金の増減額	7,125
賞与引当金の増減額	54,600
売上債権の増減額	1,883,818
たな卸資産の増減額	△1,842,346
仕入債務の増減額	△628,279
未払消費税の増加額	279,918
その他	△42,065
小計	826,012
利息及び配当金の受取額	9,884
利息の支払額	△6,826
法人税等の支払額	△621,364
営業活動によるキャッシュ・フロー	207,706
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△167,669
その他	13,604
投資活動によるキャッシュ・フロー	△154,064
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額	38,050
長期借入金による収入	800,000
長期借入金の返済による支出	△231,150
配当金の支払額	△144,781
財務活動によるキャッシュ・フロー	462,118
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	46,743
V 現金及び現金同等物の増加額(又は減少額)	562,504
VI 現金及び現金同等物の期首残高	5,335,680
VII 現金及び現金同等物の期末残高	5,898,185